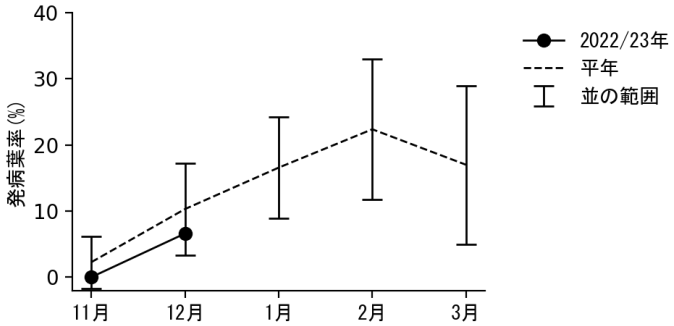
令和　４ 年度　　１ 月予報

作物	かぼちゃ		地域	八重山群島
病害虫名	①　斑点・褐斑細菌病			
調査結果	12 月の発生量（平年比）	並		
予報	12 月からの増減傾向	↗		
	１ 月の発生量（平年比）	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）		

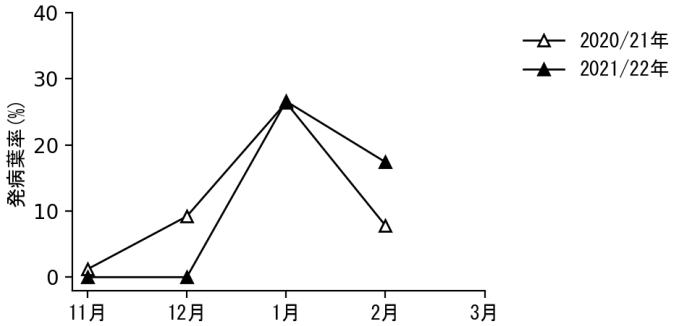
調査結果

発病葉率の推移

＜今期と平年＞



＜過去２年＞



・発生ほ場率60.0%（平年：56.7%）

防除のポイント

・強風による葉すれ等の傷口から感染するため、防風垣（ソルゴーや防風ネット等）を設置する。

・降雨や強風などの気象条件が続くと急激に広がる場合があるので、強風降雨の後は薬剤散布を行う。

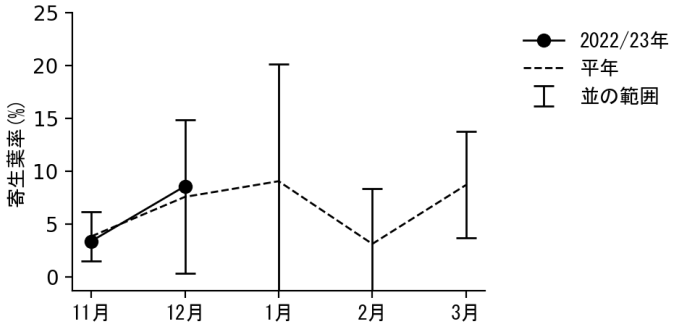
令和　4 年度　　1 月予報

作物	かぼちゃ		地域	八重山群島
病害虫名	② ハモグリバエ類			
調査結果	12 月の発生量（平年比）	並		
予報	12 月からの増減傾向	↗		
	1 月の発生量（平年比）	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）		

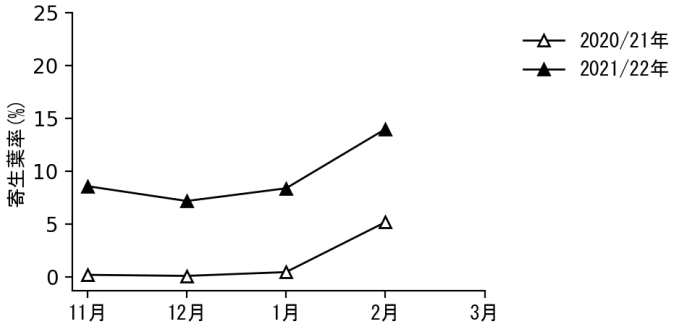
調査結果

寄生葉率の推移

＜今期と平年＞



＜過去２年＞



・発生ほ場率80.0%（平年：63.2%）

防除のポイント

・多発すると防除が困難になること、また寄生痕からうどんこ病や細菌性病害が侵入する場合があることから、発生初期の防除を徹底する。

・幼虫期間が短いため、葉面に産卵痕や食害痕が見え始めたら防除を開始する。

・防除効果は幼虫の体色で判断する。生存時は黄色で死亡すると黒変する。

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

・ほ場周辺の雑草は本種の発生源になるため除去する。

幼虫の死骸
（農薬などで死亡すると黒色に変色）